

機械器具 54 医療用捲綿子
一般医療機器 医科用捲綿子 10172000

トランスワブキャリーブレア

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は細菌検査材料の採取ならびに輸送を目的とし、キャップ付き綿棒と培地チューブが滅菌パックに入っている。綿棒(スワブ)には品質が均等でpHの影響を受けない化学繊維が使用されている。培地には糞便検体用のキャリーブレア培地が使用されている。チューブ側面のラベルには採取した検体についての情報が記入できるようになっているほか、使用期限、製造番号が記載されている。



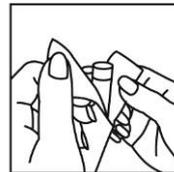
培地成分 (1L 中)

チオグリコール酸ナトリウム	1.5g	塩化カルシウム	0.09g
リン酸水素二ナトリウム	1.1g	寒天	5.6g
塩化ナトリウム	5.0g		
pH8.0±0.5			

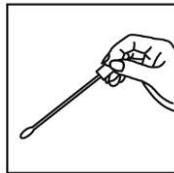
【使用目的又は効果】

本品は、検査のための試料を採取することを目的とした器具である。

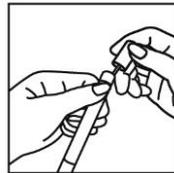
【使用方法等】



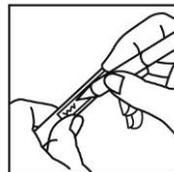
1) パック本体より培地チューブを取り出す。培地チューブの栓を取り外し、栓は廃棄する。



2) キャップ付き綿棒で細菌検査材料を採取する。



3) 検体採取後は綿棒をすみやかに培地チューブ内に挿入し、チューブラベル上部にあるCAP BASE TO LINE までしっかりとキャップをする。



4) ラベルに必要事項を記入し検査室へ送付する。検査室は検体を受領しだい検体情報をもとに適切な分離培地及びその培養法を選択してすみやかに処理すること。

*【使用上の注意】

- 糞便などの細菌検査材料の採取ならびに輸送に使用すること。
- 肛門から細菌検査材料を直接採取する場合、綿棒軸からの綿球のはずれ、綿球の肛門内への残留、軸の折損や採取手技等により、被験者の肛門や直腸を傷つける恐れがあるので、施術者の責任で十分に注意を払い実施すること。
- 肛門から4 cm以上奥に綿棒を挿入しないこと。
- 細菌検査材料(被検菌を含む)の取扱には十分に注意すること。使用後の培地、綿棒はオートクレーブなどで滅菌処理してから廃棄すること。
- 使用前に汚染のないことを確かめてから使用すること。
- 誤って凍結させたものは使用しないこと。
- 綿棒の軸はプラスチック製で直角に押し曲げると折れるので、検体採取時に軸の切断が予想されるような部位への使用はしないこと。

- ・ 抗生剤投与等の治療を開始する前に検体を採取すること。治療開始後に採取された検体であればその旨を付記して検査室に送付すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法 : 5～25℃で保存(凍結しないこと)

使用期限 : 25ヶ月

使用期限はラベルに記載

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

<製造販売業者>

イワキ株式会社

<https://www.iwaki-kk.co.jp>

<問い合わせ先>

イワキ株式会社

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里四丁目 12 番 1 号

TEL 03-6733-0227 FAX 03-6733-0228

E-mail bio@iwaki-kk.co.jp

<製造業者>

Medical Wire & Equipment Company (Bath) Limited

メディカル ワイヤー アンド エクイップメント カンパニー

バス リミテッド (イギリス)